

## 編集後記

今号の学会ニュースも盛りだくさんの内容で、拝読しながら(当然のことではあります)学会は会員活動が源なのだと再認識しました。原稿をお寄せくださった会員みなさまに心よりお礼申し上げます。

保正会員の秋季大会報告に「持続可能な大会運営のあり方の確立は喫緊の課題」と書かれていたように、学術業界の「持続可能」を考えるのはたいへん重要であると思います。このテーマに関連して、今年の3月に本学会も加入する「社会政策関連学会協議会」において、シンポジウムを開催しました(<http://casp-home.jp/>)。その際、私は「若手研究者の育成と学術の課題」というテーマで報告させていただいたのですが、内容の多くは、学術会議の若手アカデミーが発出した「見解『2040年の科学・学術と社会を見据えていま取り組むべき10の課題』」(<https://www.scj.go.jp/ja/scj/wakate/index.html>)にあります。お忙しいとは存じますが、こちらもご覧いただければ幸いです。

岩永理恵(日本女子大学)